

# 和

森の里小学校  
研修部通信  
令和2年10月13日

## ブロック研（1年1組松久学級）

9月14日（月）に、今年度初めての授業研が行われました。今年は、「密をさける」ために、全校研ではなくブロック内での公開となりました。

低学年ブロックで松久先生の『たしざん』の学習を見させていただきました。机間巡視ができないくらい机がたくさん並んでいて、人数の多さに圧倒されましたが、子ども達は姿勢良くしっかり先生の話聞いて学習していました。学習条規もきちんとされており、日々の松久先生の指導がしっかり行き届いていると感じました。

後日ブロックで行った事後研は、下のような話がされました。

### 【低学年ブロック】

#### ○授業者から

新しい単元の1時間目だった。いままでの学習（10を作る、12を10と2にわける…）などの既習事項を生かした、繰り上がりのあるたし算の学習の導入部分であった。繰り上がりの計算をイメージできるようにブロックを使って授業を進めた。次時につながるように10を作るということを中心に学習を進めた。



#### 視点1「考える力の育成」

- 問題が、わかりやすくとらえられるように工夫されていた。
- 「ふえた!」「たしざん!」というつぶやきから、問題提示の仕方に工夫があり、子どもたちが興味をもっていたことが感じられた。
- ICT機器を使ったノート指導が、効果的だった。
- 考える力をつけるためには、低学年においては丁寧な確認が必要であると感じた。
- ブロックを使って活動することがスムーズに流れていた。普段からの指導がいきわたっていた。何とか答えまで自力でたどりついてよかったと思う。
- 9の方のブロックケースに入れて、あと一つで10がわかりやすかった。ピンときた子は、すぐ1つをケースに入れていた。
- メロンパンなどの教具が工夫されていた。思わず箱に入れたいくなるのがいい。キャラクターもよい。
- 一人学びの前に「答えがわかりやすくなる」という視点をもたせていたのがよかった。
- ブロック操作は、本時の課題でもあったので、一人学びの中でブロック操作をもう少し増やしても良かった。



## 視点2「学び合い」の充実

○学んだことを生かして、何ができるようになるのか（10のかたまり）がしっかり身につく内容になっていた。

○ペア交流で「教えて下さい。」と声をかけることが共同で考える工夫になっていた。

○話し合う時には、何について話し合うかをはっきりさせていたので、話し合いやすかった。

○ペアで伝え合うことで、自分の考えに自信がもてたり、確かめられたりしてよかった。

○考えを取り上げる順がよりよくなるように（10と11、12、13より、10と3）進めていたのがよかった。

○ペア交流に慣れてきているので、スムーズに交流できていた。

●ブロックを分けることができても、プリントの「4を口と口に分ける」があまりできていなかった。

●「4を1と3に分ける。9と1で10。10と3で13。」というのを、子どもたちに声に出させて説明させる機会があると良かった。そうすることで、そのあとのプリントの理解も深まった。

●最後の問題をもう少しじっくり取り組むと良かった。

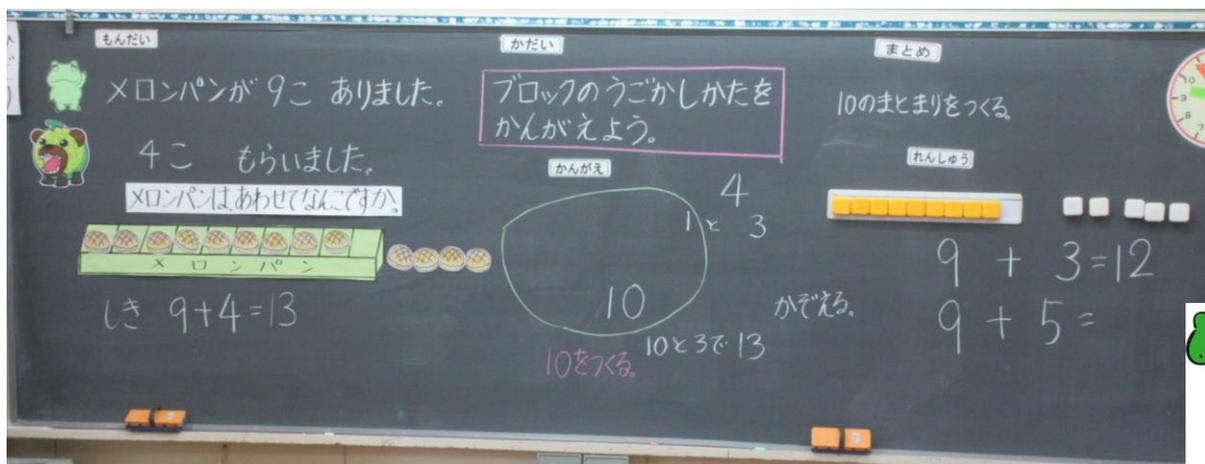
●ペア交流を多く実践する時期は、ペアが共倒れにならない机列の工夫も必要。

## その他

- ・ノートを書く、ブロックを出す、しまうなど、細かく指示が出されていて良かった。
- ・学習規律がしっかり身についている児童が多く、集中して学習できていた。細やかな声かけ、配慮が伝わっていた。図と言葉の両方でわかりやすいと思った。
- ・「10をつくとわかりやすい」という言葉が、ほぼみんなに理解できていた。
- ・学習常規の定着が素晴らしかった。学習の構えができていて学力にもつながっていく。ノート指導も丁寧で、どこに書くかわかっていた。もしも、支援員さんを活用できれば、先生がノートの様子を見て、支援員さんに書いてもらう方法もありかな、と感じました。
- ・ノートの課題を困むときは、フリーハンドではなく定規を使ったほうがよい。

### 指導主事より

- ・課題とまとめにねじれが生じていた。「～考えよう。」という課題ではなく、「～を考えて〇〇しよう。」という具体的な課題にするべきだった。（指導主事より）
- ・「4を1と3に分ける。」場面では、ゆさぶりがあっても良かった。「4を2と2に分けてもいいのでは？2と2では、なぜいけないのか。」という問いを子どもたちに投げかけ、考えさせる場面があってもよかった。（指導主事より）
- ・指導案の形式は、今後検討してもよいのではないか。（評価規準を入れる、本時案の中に行動観察をいつするのか、ノート分析をいつするのか、など。）



松久先生、  
お疲れ様でした。

